

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：東戸塚もえぎ保育室	種別：地域型保育事業
代表者氏名：市川 久乃	定員（利用人数）：9名（10名）
所在地：〒240-0033 神奈川県横浜市保土ヶ谷区境木本町67-1 ラソパール東戸塚109	
TEL：045-315-2666	ホームページ： <a href="https://moegi-ikuenkai.ed.jp/higashitotsuka/">https://moegi-ikuenkai.ed.jp/higashitotsuka/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 育援会	
職員数	常勤職員：4名 非常勤職員：4名
専門職員	（専門職の名称） 保育士 6名 調理員 1名 家庭的保育者 1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）*建物・園庭を含む 建物の構造：鉄筋コンクリート5階建て 園舎は建物1階 保育室延床面積：35.23㎡
	乳児室(0～2歳児室) 3室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 1室 事務室兼職員休憩室 1室

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>ひとりひとりの豊かな成長を促す為の落ち着いた雰囲気と保健的で安全な環境を提供する</p> <p>*心地よく無理のない生活リズムの中で生活面、情緒面の安定を図ります。ひとりひとりを大切に、急がせることなく個性に合わせた成長の手助けをしていきます</p> <p>*子育ての情報発信、家庭との連携により、子どもにとってより良い環境作りに努力します</p> <p>*安全と衛生には特に注意しお子さまを大切にお預かりします</p> <p>【保育方針】</p> <p>*健康的で安全な環境を作り常に心身の状態を観察し、快適に生活できるようにする</p> <p>*ひとりひとりの子どもの生活リズムを重視して生理的欲求を満たし生命の保持と生活面情緒面の安定を図る</p> <p>*保護者との信頼関係を気づきながら保育を進めるとともに、保護者への支援に努</p>
---

める

【保育目標】

豊かな感性を育み、ヒトを大切にしようとする気持ちを持つ

主体的に判断し行動できる子ども

～好奇心を持ち、様々な事を楽しむことのできる心～

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

東戸塚もえぎ保育室は、JR湘南新宿ライン、横須賀線東戸塚駅から徒歩13分の小規模保育事業B型施設で、園舎はマンションの1階にあります。運営法人は特定非営利活動法人育援会で、2015年4月に開園し、現在、0～2歳までの10名（定員9名）が在籍しています。

周囲は住宅街で、複数の公園があり、四季折々の自然に触れ、身体を動かして遊べる環境にあります。また、ハロウィンには近くの商店街へ出かけ、商店の人や地域住民と交流をする機会を作っています。卒園後の受け入れ協力の連携施設として、初音ヶ丘幼稚園、あかいとり保育園があり、行事や外遊びで交流しています。

【園の特徴】

地域型保育事業の中でも小さい規模で、ほぼ1日中、0歳児から2歳児までと一緒に生活を送っています。家庭的な雰囲気の中で、子どもたち自身が、自然に思いやりや優しさ、自立心を持って子ども同士の関わりを楽しんでいます。

保護者との連携を密にし、ホームページやアプリを活用して子どもの様子をわかりやすく発信しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月18日（契約日）～ 2023年12月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（一年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 子ども一人ひとりを受容した応答的な関わり

少人数のため、家庭的な雰囲気づくりや職員の配置に配慮し、子どもたちがいつでも職員に見守られていると感じ、安心して遊びに取り組めるよう環境を整えています。子どもとの1対1の丁寧な関わりの中で職員は、常に「あなたのことを大好きだよ」と子どもに伝えるようにしています。職員は応答的な関わりや話しかけを大切に、子どもたちが、安心して自分の気持ちを喃語や言葉にして表現できるように援助をしています。

2. 保護者との緊密な連携

職員は、保護者との朝の送迎時の会話や連絡帳（アプリ）から前日の家での様子、体調、睡眠時間等を確認し、0歳児は午前睡前に散歩に行く等、臨機応変に対応しています。また、夕方のお迎え時前までに、クラスの様子を連絡帳やSNSで発信し、保護者にお迎えの際に、その日の子ども一人ひとりの遊びの様子や昼食の喫食状況を、

画面を見ながら伝えています

親子遠足や懇談会、保育参観の後に、保護者アンケートを実施しています。親子遠足のアンケート結果から、公園におむつを替える場所がないとの意見を受け、今年度から簡易テントを用意しておむつ替えの場所を確保するなど、できるものから改善しています。さらに、年1回開催する運営委員会（施設長、保育士、保護者代表3名、外部有識者）の前に、他の保護者の意見を反映させるため事前アンケートを実施する等、保護者満足度の把握に努め、保護者との連携が一層高まっています。

### 3. 職員の声を生かした保育運営

施設長は、職員会議の活性化や保育の質の向上を図るため、今年度から、職員会議の前に職員に「気づきメモ」を提出してもらっています。メモの内容は特に限定することなく、職員が毎日の保育の中で気づいたことを、自由に書いてもらっています。施設長は自らの分も含め全員分をまとめて整理し、職員会議で話し合っています。「ヒヤリハットは気づいたときにすぐ出せるように工夫したらどうか？」等、すぐにできるものから実行しています。

#### ◇今後期待される点

##### 1. 中・長期計画を反映した単年度事業計画の策定と実施状況の評価の明確化

「中長期の事業計画（2023～2025年度）」を策定し、「保育内容の充実」「人材育成」「保護者支援」等、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容を設定しています。単年度事業計画は、行事中心の計画となっており、中長期計画を踏まえて年度内で取り組む課題を明確にして策定することが望まれます。また、実施状況の評価が行なえるよう、達成状況や担当者の設定等を行なうことが期待されます。

##### 2. プライバシー保護に配慮したマニュアルの作成の検討

子どものプライバシーに配慮した保育を行ない、水遊び等のマニュアルにはプライバシー保護に関する留意事項や配慮事項を記載しています。さらに、子どもや保護者のプライバシー保護についての姿勢や責務、配慮事項等を明確にした、プライバシー保護に特化したマニュアルの作成について、検討が期待されます。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受審し、全職員でこれまでの保育について考え、確認し、話をする大切な時間となりました。今回の評価をしっかりと受け止め、必要な計画やマニュアルを分かりやすく職員へ伝えていけるよう努めていきたいと思えます。

保護者の皆さん、アンケートのご協力をありがとうございました。評価機関の方々も、寄り添い細かく理解してくださりありがとうございました。

今後も子ども達が安心して過ごせる場、子ども達を主体とした保育を実践していけるよう職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

#### ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり